

「蜂須賀家家臣団家譜史料データベース」 URL  
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/dbhachi/hachi.html>



## ご利用にあたってのお願い

- 本データベースは、主に学術研究・教育を目的として公開しています。
  - 本データベースを使用したことによって発生した不利益、損害などに関して、徳島大学及び徳島大学附属図書館は一切の責任を負いません。
  - 本データベース掲載データの無断転載や再配布を禁止します。
  - 本データベースの内容を出版物、ビデオ、DVD、インターネット、テレビ番組、展示等で使用する際は、事前に徳島大学附属図書館の許諾が必要です。詳細は下記までお問い合わせください。



# 「蜂須賀家家臣団家譜史料データベース」 公開にあたって

徳島大学附属図書館長 石川 荣作

徳島大学附属図書館には、江戸時代に阿波・淡路両国を支配していた徳島藩及び蜂須賀家関係の史料が収蔵されています。これら史料の保存と公開を両立する手段としてデジタル化事業に着手、平成11年の「近世古地図・絵図コレクション」高精細デジタルアーカイブ公開に引き続き、この度「蜂須賀家家臣団家譜史料データベース」を公開する運びとなりました。

今回データベース化したような文書資料は絵図などに比べれば地味なものです。しかし、歴史研究上貴重な原史料であることは言うまでもありません。このような地域史料が地理的・物理的な制約を超えて広く国内外の研究者の利用に供せられることの意義は大きく、本学をはじめとする大学図書館によるコレクションのデジタル化事業の目的のひとつがまさにそこにあることも度々指摘されているとおりです。特に本データベースでは画像化に加え検索機能による膨大なデータへのアクセスの迅速化により、近世史や地域史における研究が促進されることを願うものです。

データベースの詳細については事業代表者である桑原恵・総合科学部教授の解説に譲りますが、原史料の解題分析からの忍耐強い作業に改めて敬意を表します。また、データベース作成委員として専門的立場から助言や助力をいただいた根津寿夫・徳島市立徳島城博物館学芸員、平井松午・総合科学部教授、大恵俊一郎・高度情報化基盤センター教授の各氏をはじめとする多くの方々の尽力に感謝申し上げます。

※本データベースは平成17年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)による「近世大名(蜂須賀家)家臣団家譜史料データベース事業」において作成されました。

# 近世大名(蜂須賀家)家臣団家譜史料 「成立書」について

徳島大学総合科学部教授 桑原 恵

徳島大学附属図書館には、江戸時代に有数の国持ち大名であった蜂須賀家ゆかりの史料がいくつか収蔵されています。すでにホームページでも公開されている絵図史料もその一つですが、そのほかにも蜂須賀家の家臣たちの家の系譜を知ることの出来る史料として「蜂須賀家家臣成立書并系図」という一群の史料があります。この史料は、蜂須賀家が家臣に対して、それぞれの家の系譜を書き上げさせたもので、多くは天保5年(1834)に作成され、その後文久元年(1861)に書き継いで提出されたものです。ただ、中には寛政年間に提出されたものも含まれており、提出時期とその目的については今後検討していく必要があります。また明治期に入っても何度か書き継いで提出されています。明治期に提出されたものについても、その作成目的に関しては今後の検討が必要となるものと思われます。

成立書を提出した家臣は、家老などの重臣から無足人と呼ばれる下級の家臣までです。そのなかで、重臣の家譜にあたるものは藩主個人の家に所蔵されて現在に至っており、最下級の家臣についての部分は国文学研究資料館(大学共同利用機関法人人間文化研究機構)に所蔵されています。したがって、本学の附属図書館に所蔵されている史料は、最上級の家臣と最下級の家臣を除く家臣団の家譜と言えます。その意味では、家臣団の中核を占めていた家臣団についての系譜を知ることが出来る史料なのです。

蜂須賀家は、よく知られているように尾張出身で尾張で勢力を伸ばし、その後播磨の竜野の領主となり、阿波の藩主となって明治まで阿波と淡路を支配していました。従って家臣の中には尾張出身、竜野出身、さらには阿波出身のものがいます。この「成立書」には各家の初代が誰で、どこの出身であるかを始め、いつ頃からどのような役職を勤めたか、拝領した禄高、養子の場合の実父、婚姻関係までが詳細に書き記されています。また、各家の家譜の記述の最後には系図が付けられ、その後には家紋が描かれています。

以上述べてきたことからもおわかりのように、この「蜂須賀家家臣成立書并系図」という史料は、江戸時代の徳島藩の家臣に関する貴重な情報が記録されたものであると言えるのです。このような情報満載の史料ですので、その利用範囲も多岐に亘ります。図書館では、平成 17 年度に科学技術研究費補助金の交付を得て、この史料についてデータベース化を進めました。今回の作業では、成立書に記載された各家の当主の名前を取り出して検索可能にしています。例えば、古文書などで姓のみや名前のみしか記載されていない場合でも、家臣であれば、姓もしくは名前から該当する可能性のある家の成立書のページを知ることができます。このような検索を容易に行うことができれば、上述した豊富な情報の利用もよりスムーズに行うことが可能となります。

今後は、データベースの公開を進めると共に、検索情報を増やすことによって、さらに広汎な利用を可能にしていきたいと考えています。



## 「蜂須賀家家臣成立書并系図」

徳島大学附属図書館貴重資料ポータル

<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/k-portal/>

前ページの解説冒頭で触れられている「絵図史料」は、徳島大学附属図書館所蔵「近世古地図・絵図コレクション」に含まれているものです。同コレクションのうち主要なものは平成10～11年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)事業等により高精細デジタルアーカイブ化されました。

これら徳島大学附属図書館のデジタル化貴重資料は、今回公開した「蜂須賀家家臣団家譜史料データベース」と併せて、上記ポータルサイトからご覧になることができます。

